

# 18 港川人の時代について考えよう



港川人は、沖縄県八重瀬町の港川フィッシャー遺跡で発見された人類化石です。一緒に見つかった炭の年代を調べたところ、1万8千年前のものとわかりました。しかし、港川人が使っていたはずの石器などの道具は見つかっていないため、港川人の生活は、体の特徴や、一緒に見つかる動物化石から推測するしかありません。ここでは、港川人のいた頃の沖縄について考えてみましょう。

1. 港川人の古さについて考えてみましょう。

港川人の時代である1万8千年前とは、どのくらい昔でしょうか。1世代を30歳と仮定すると、2世代前は60年前、3世代前は120年前となります。このように1世代30歳と仮定すると、1万8千年前は何世代前になるでしょうか？

式：\_\_\_\_\_ 答え：\_\_\_\_\_世代前

2. 港川人の時代の沖縄について考えてみましょう。

港川人のいた時代は、更新世と呼ばれます。更新世の動物の化石が沖縄県内の各地から見つかります。サークルホールや自然史展示室の化石コーナーには、更新世の動物の化石が展示されています。その動物を探して二つあげましょう。

名前：\_\_\_\_\_ 名前：\_\_\_\_\_

3. 化石として見つかる動物が住む環境を考えると、当時の環境を推測することができます。2で答えた動物化石から考えると、港川人の時代の沖縄は、どのような環境だったと思いますか？あなたの考える環境を書いてみましょう。

\_\_\_\_\_

